

令和2年10月21日から令和2年12月22日までの出来事を掲載しました。



タイトル：春へとバトン繋いで  
撮影者：福島 由美さん

表紙写真について、令和2年7月11日から令和3年1月8日までの期間で3名の方から6枚の写真のご応募がありました。ご応募ありがとうございます。次回の締切は7月9日です。

## 議 会 ト ピ ッ ク ス

### 議場内にアクリル板の設置など新型コロナウイルス感染症対策を強化

令和2年11月20日付で清野一榮議長は、より徹底した感染予防を実施して議会運営を進めること、さらには陽性患者やその家族等への偏見、差別や誹謗中傷をやめ、冷静で思いやりのある行動をお願いするメッセージを、市議会のホームページを通じて市民へ向け発信しました。

弘前市議会は新たな対策として、令和2年第4回定例会中に議長席、演壇等の前や議席等の間にアクリル板を設置しました。また、音響設備の改修に伴い、議席のマイクは2人で1本使用していたものを1人1本となるようにしました。それに併せて、インターネット中継用カメラの更新、傍聴用モニターの設置を行い、性能及び利便性を向上させました。



議長席、演壇（写真左）及び質問席の前方にアクリル板を設置



傍聴席の後方からも見やすいモニターを左右2箇所に設置

議席の間にアクリル板を設置し、マイクも1人1本に

# 令和2年第4回定例会

## 市長提出議案 28件

【会期：令和2年11月27日(金)～12月22日(火)】

※いずれの表も事業費の単位は千円

### 12月補正後の令和2年度予算

一般会計 1004億5399万9千円  
 (12月補正額 17億3185万6千円)  
 特別会計 411億5356万6千円  
 (12月補正額 2453万8千円)

#### ●事件処分の報告及び承認について（事件処分第7号） 【令和2年度弘前市一般会計補正予算（第12号）】

市内で発生した新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、開催が中止となった「津軽の食と産業まつり」、「弘前城菊と紅葉まつり」への参加予定事業者へ支援金を給付するための経費及び医療従事者等が感染拡大防止を図るために宿泊施設を利用する際の宿泊費を補助する経費を追加することとし、この措置に急を要したため処分したものです。

補正額 3240万円

【事件処分年月日：令和2年11月5日】

補正内容	事業費*
医療従事者宿泊支援事業費補助金追加	9,000
津軽の食と産業まつり負担金追加	11,400
四大まつり開催事業追加	2,000
感染拡大防止滞在費補助金追加	10,000

#### ●事件処分の報告及び承認について（事件処分第6号） 【令和2年度弘前市一般会計補正予算（第11号）】

市内で発生した新型コロナウイルス感染症の感染拡大の早期収束に向け、市内飲食店へ休業協力を依頼することに伴い、協力飲食店に対し協力金を支給する経費を計上することとし、この措置に急を要したため処分したものです。

補正額 2億円

【事件処分年月日：令和2年10月19日】

補正内容	事業費*
飲食店休業協力金	200,000

#### ●令和2年度弘前市一般会計補正予算（第13号）

新型コロナウイルス感染症に係る対応として、各種団体等が実施する売上回復を図るための広告宣伝や消費喚起事業に対する補助金を計上するほか、市からの協力依頼に応じ、休業や営業時間の短縮等を実施した飲食店に対する協力金を追加するものです。また、新陳代謝・給与改定等に伴い、報酬・給料・職員手当等の人件費を追加するものです。

補正額 2億2271万6千円

補正内容	事業費*
弘前の元気回復広告宣伝事業費補助金	20,000
年末年始緊急消費喚起事業費補助金	50,000
飲食店休業協力金追加	100,000

【新型コロナウイルス感染症への対応に係る補正のみ表記】

#### ●令和2年度弘前市一般会計補正予算（第14号）

新型コロナウイルス感染症に係る対応として、公共施設におけるサービスの維持に係る指定管理料等を計上するほか、小・中学校職員室等へのエアコン設置に伴う受電設備の改修費等を追加するものです。また、障害者総合支援法等関係事業の追加等に伴う補正を行うとともに、新型コロナウイルス感染症の影響による事業の中止等に伴う減額や、県の地域経済対策事業費補助金の振替に伴う財源調整を行うものです。そのほか、旧市民参画センター等解体事業等に係る繰越明許費の補正、令和3年度弘前りんご花まつり開催に係る経費等の債務負担行為の補正、旧市民参画センター等解体事業等に係る地方債の補正をするものです。

補正額 11億7732万7千円

補正内容	事業費*
ICT活用事業	20,667
感染拡大防止対策経費	5,581
泉野多目的コミュニティ施設指定管理料追加	100
町会活動支援物資配付事業	4,761
伝統産業会館指定管理料	200
次代のさくら光プロジェクト総合演出事業	40,000
岩木山桜林公園指定管理料追加	1,100
星と森のロマンピア指定管理料追加	53,000
国民宿舎「いわき荘」及び岩木総合交流ターミナル指定管理料	53,000

【新型コロナウイルス感染症への対応に係る補正のみ表記】

補正内容	事業費*
駅前地区都市改造記念会館及び駅前南地区都市改造記念会館指定管理料	400
小学校校内通信ネットワーク整備事業追加	48,072
小学校修学旅行キャンセル料等支援事業費補助金	2,311
小学校冷房設備設置工事追加	243,181
中学校校内通信ネットワーク整備事業追加	23,373
中学校修学旅行キャンセル料等支援事業費補助金	3,560
中学校冷房設備設置工事追加	150,949
れんが倉庫美術館等指定管理料追加	61,000

●令和2年度弘前市一般会計補正予算（第15号）  
 新型コロナウイルス感染症に係る対応として、タクシー業を営む事業者が行うタクシー車両の感染防止対策に要する経費に対する補助金を計上するものです。  
**補正額 1千万円**

補正内容	事業費 <sup>※</sup>
タクシー車両感染防止対策事業費補助金	10,000

●令和2年度弘前市一般会計補正予算（第16号）  
 新型コロナウイルス感染症に係る対応として、低所得のひとり親世帯への臨時特別給付金（基本給付）を再支給するための経費を計上するものです。  
**補正額 8941万3千円**

補正内容	事業費 <sup>※</sup>
ひとり親世帯臨時特別給付金追加	89,413

**人 事 案 件**

1件 ○人権擁護委員候補者の推薦について（1名）

あきもと みえこ  
 秋元 美恵子氏(新任)

**請 願**

1件

○国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める請願 …… 不採択

**陳 情**

2件

※陳情書は議員に参考配付しました。

- 最低賃金の地域間格差を解消する全国一律最低賃金制度の実現と中小企業支援の拡充を求める陳情書
- 「学校給食の無償化」をもとめる陳情

**議 員 発 議**

1件

**意 見 書**

○西十和田トンネル(仮称)早期建設を求める意見書（要約）

国道102号は、津軽と南部を結ぶ十和田湖経由の大動脈として併用されるとともに、東北縦貫自動車道弘前線と八戸線の連絡道の役割を担うほか、北海道新幹線新青森・新函館北斗間が開業となった今日では、十和田・八幡平圏域への観光ルートとして、ますます重要な役割を担う路線である。さらに、青森県、秋田県にまたがっている十和田湖南西地域の山間部における災害時の避難路としても非常に重要な役割も兼ね備えていながら、この路線は特別豪雪地帯に位置しており、特に青森県平川市温川地区から秋田県小坂町滝ノ沢地区までの区間は、毎年4か月余り冬期閉鎖され、物流の連絡が不便になるだけでなく、冬期観光ルートプランニングや災害時の避難、救援物資等の輸送におけるマイナス要因となっており、本区間のトンネル整備は周辺自治体及び住民の切実な願いとなっている。国土の均衡ある発展のためにも、西十和田トンネル(仮称)の早期建設を強く要望する。

※意見書の提出先

青森県知事、秋田県知事

**令和2年第4回定例会日程（26日間）**

11月27日(金) 本会議	開会、会期の決定、 提案理由の説明	12月15日(火) 常任委員会	予算決算 議事整理
11月28日(土)～12月7日(月)	議案熟考	12月16日(水)～12月21日(月)	各委員長の報告、 質疑、討論、表決、 閉会
12月8日(火)～12月10日(木)	一般質問	12月22日(火) 本会議	
本会議	一般質問、議案付託		
12月11日(金) 本会議	経済文教、建設、 総務、厚生		
12月14日(月) 常任委員会			



## 一般質問

質問・答弁の要約を掲載いたします。

※敬称略。( )は所属党派。登壇順に記載。文責は質問者にあります。



齋藤 豪  
( 滄 洗 会 )

## 農業行政について

**問** 休職者等農業マッチング緊急支援事業の実績と来年度の対応について問う。

**答** 本事業は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により生活に影響を受けた市民等を雇用した農業者に対し賃金の一部を補助するものであり、11月末現在で申請が128件、雇用された作業員が415名、補助金申請額が約6,400万円である。作業員は、約50%が学生、約25%が副業を

認められた方、約22%が無職の方である。市では、補助対象者に流通事業者の追加や補助対象期間の延長など、制度を拡充し雇用の継続を図っており、新たな人のつながりによる補助労働力の確保にもなっている。なお、来年度の事業実施は、国等の財源の動向を注視し検討する。

〈その他の質問項目〉○上下水道工事に伴う道路の掘り起こし ○弘前駅前北地区の融雪 ○農作物への鳥獣被害



石岡 千鶴子  
( 無 所 属 )

## 水害常襲地における対策について

**問** 常襲地の把握と改修計画及び進捗状況を示せ。

**答** 令和2年度末までで全体数67箇所に対し、51箇所が対策済みとなる。令和4年度までに全て解消するよう取り組む。南袋町地区では河川護岸の一部嵩上げや道路側溝への逆流を防止するゲート設置を進める。大清水地区はパトロールの強化、土地改良区と連携して対応していく。

## コロナ禍に係る農業関係補助金について

**問** 「持続化給付金」受給資格がない生産者は申請すべきでなく市の認識を問う。

**答** 申請の際は証書書類等の内容が虚偽でないこと、不正受給が判明した場合には返還等を行うことなど、宣誓または同意が必要である。自身が給付要件を満たしているか不安な場合は専門のコールセンターに問い合わせること等について、市内農業者に広く周知している。



蒔苗 博英  
( 創 和 会 )

## 新型コロナウイルス感染症対策について

**問** 当市のクラスター発生時の対応と、今後の感染予防対策及び経済対策は。

**答** 市は、市内飲食店に休業等の協力を依頼し、依頼に応じた事業者には協力金を交付。また、10月19日から11月1日まで市立小中学校を臨時休業した。クラスターを教訓として、弘前商工会議所と共催で、飲食店向けの感染予防対策研修会を実施して意識啓発を図っている。消費

喚起への支援として、年末年始緊急消費喚起事業費補助金、弘前の元気回復広告宣伝事業費補助金の制度を新たに実施。

**問** 指定管理導入施設への影響等を問う。

**答** 新型コロナウイルス感染症の拡大は、想定外の事態であり、今後、安定的、持続的な公共サービスを提供するため、減収が見込まれる施設については、今年度の管理業務に係る収支赤字相当額を指定管理料として支出することとした。



竹内 博之  
( さくら未来 )

## 弘前市の新型コロナウイルス感染症対策について

**問** これまでの対策に関する評価・検証。

**答** 市では、「弘前市新型インフルエンザ等対策行動計画」に準じ、感染拡大防止対策を講じてきたが、この度の新型コロナウイルス感染症の対応を踏まえ、平成28年度に策定された同計画について必要な部分は実態に合わせた改正を行うとともに、将来を見据え、組織体制を含め

た見直しについても検討する。

**問** これからの対策について。

**答** 市庁舎内の感染防止対策として、テレビ会議が可能な会議室を追加するなどの環境整備を進めるほか、テレワークについては、端末の拡充を行うとともに、最大20人まで同時にテレワークを行うことができる環境を構築するなど、「新しい生活様式」を踏まえた職員の働き方改革を推進していく。



松橋 武史  
( 滄 洗 会 )

## 弘前市公共施設個別施設計画について

**問** 現在策定を進めている個別施設計画の概要と、策定による効果を問う。

**答** 個別施設計画は、施設の用途や建築年、劣化状況のほか、課題や対策内容などを取りまとめたもの。計画を策定することで、中長期的な視点に立ち、公共施設の計画的な整備など老朽化対策を行えるとともに、公共施設全体の更新費用の縮減や平準化の効果が期待される。

## 弘前れんが倉庫美術館周辺道路について

**問** 都市計画道路3・4・6号山道町樋の口町線街路整備事業の進捗状況を問う。

**答** 街路整備は、2年程度遅れているが、令和3年度末には街路と駅前広場の工事が終了する見込みとなっている。今後も、ソフト面において、民間団体との連携を強化し、引き続き、にぎわい創出に取り組むとともに、弘南鉄道大鰐線の維持・活性化にも努めていく。

令和2年第4回定例会も、新型コロナウイルス感染症対策として1人の質問時間を60分から50分に短縮しました。



石田 久  
(日本共産党)

### 生活困窮者への支援について

**問** 緊急小口資金等の実績は。

**答** 緊急小口資金及び総合支援資金は、低所得者等の生活を経済的に支えるため、市町村社会福祉協議会が窓口となり実施している貸付制度。新型コロナウイルス感染症の影響で、休業や失業が発生したため従前よりも内容が拡大された。制度の利用状況は11月末現在、緊急小口資金は588件、1億841万円、総合支援資金は

193件、1億133万5千円となっている。

### 特別障害者手当について

**問** 要介護認定された方への制度周知は。

**答** 今後は、新たに介護認定を受けた方へ結果通知書を送付する際に特別障害者手当の内容が分かるものを同封して周知を図るほか、市が毎年2回開催する介護支援専門員の研修会においても研修項目に追加するなど、障害者手帳の取得予定がない方にも制度の周知を図っていく。



千葉 浩規  
(日本共産党)

### インフルエンザ流行に備えた体制について

**問** インフルエンザの予防接種の現状と今後の対応について問う。

**答** 市では、重症化リスクの高い方がインフルエンザ予防接種を受けやすいよう、今年度に限り助成事業を拡充している。助成を受けた方の接種数は、未就学児が、令和元年10月分の1,557人に対し、令和2年度10月分が3,710人で、前年度の2.4

倍である。高齢者は、令和元年度の合計が2万9150人、令和2年度は10月19日から10月31日までに前年度合計の約半数に当たる1万4799人の方が接種しており、多くの方が昨年より早期に接種している。今後は、インフルエンザ予防接種助成事業の他、市民に感染症予防に係る生活習慣や行動に関する情報を周知していく。

〈その他の質問項目〉○コロナ禍での事業者支援 ○福祉行政 ○水害対策



越 明 男  
(日本共産党)

### 「かじまち」の振興について

**問** 市行政全般の中で、「かじまち」をどのように位置づけているか。

**答** 鍛冶町は、県内有数の歓楽街であるとともに、歴史的・文化的資源や様々な都市機能が集積されていることから、魅力的な観光資源であり、にぎわい創出の可能性が高い地区であると考えている。地域資源とイベント、まつりなどとの有機的な連携により、振興を図っていく。

**問** 市職員に「工夫を凝らした忘年会を行うよう指示した」との市長発言の真意は、市内飲食業者等へのエール（応援）ととらえてよいか。

**答** 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、非常に厳しい状況に置かれている市内の飲食業界を応援するため、市職員が率先して新しい会食のあり方について実践してほしいという、職員各自の主體的な取組を促す意味で話したものの。



外崎 勝康  
(木揚公明)

### 新型コロナウイルスについて

**問** パルスオキシメーターの配置状況は。

**答** 市内各医療機関及び宿泊療養施設に配備され、症状変化の把握に用いられた。

**問** 経済状況の把握、関係機関との連携。

**答** 市内各業界の景況動向は関係機関と随時情報交換を行っている。県や弘前保健所など関係機関との連絡体制や役割分担等の意識共有を図り、協力をしていく。

### 当市のデジタル化推進計画について

**問** デジタル化への課題について伺う。

**答** 高齢者のようなパソコン等が苦手な方のスキルや意識の向上が平等なデジタル社会実現につながるものと考えている。

### 水道の私有管について

**問** 当市の現状、課題について伺う。

**答** 私有管全体の延長は約100キロメートル。修繕と更新は所有者が行うもの。今後は老朽化による漏水等の事故の増も予想され、重要な課題だと認識している。



坂本 崇  
(無所属)

### 新型コロナウイルス感染症対策について

**問** 新しい生活様式推進の取組を問う。

**答** 感染症予防には、市民一人一人の対策が最も重要である。今後も国や県から新たな情報が随時発信されると思われる。市民の安心と安全につながるよう、分かりやすい内容を心がけ、引き続き様々な媒体を通じて周知に努める。

**問** 弘前さくらまつりの新型コロナウイルス感染症対策について問う。

**答** 来年は101回目の弘前さくらまつりとなる。新たな100年につなげる第一歩のまつりとなるよう、新たな演出で見どころを創出するほか、人の流れを分散させるなど、密を回避するための手法も併せて検討している。安心して来園いただけるよう、これまでのまつりで取り組んできた感染防止対策に更なる検証を加え、しっかりとした対策を講じて観光需要を喚起しながら地域経済の回復を図る。



成田 大介  
(無所属)

**コロナ禍における教育行政について**

**問** 臨時休業に関する今後の見解を問う。  
**答** 多くの研究結果から、3日間でウイルスの感染力がほぼ失われるということが分かっており、仮に児童生徒に陽性結果が出て、3日間を休校にすれば、ウイルスの感染力を無力化でき、学校クラスターを発生させる可能性は小さくなると考え、分散登校による出校日を設けた臨時休業の措置を講じた。

**パートナーシップ宣誓制度について**

**問** 制度導入の目的等について問う。  
**答** 令和2年12月4日に要綱を制定し、世界人権デーである12月10日から施行することとした。この制度を必要としている方々に寄り添った運用を行い、本制度の導入を契機に、困難な状況に置かれている方々への理解と共感が広がり、多様性を尊重するまちづくりがより一層推進されるよう努めていく。



佐藤 哲  
(滄洗会)

**ファシリティマネジメントについて**

**問** 市所有農業関連施設の今後の在り方と考え方は。  
**答** 公共施設について、長期的で有効な活用を図るため「弘前市公共施設等総合管理計画」を策定した。市が所有する農業系施設のうち、岩木りんご集出荷貯蔵センター、岩木穀物活用センター、岩木カントリーエレベーターを実施計画の優先検討施設に位置づけ、施設の移譲先候

補として、つがる弘前農業協同組合の合意を概ね確認し、現在具体的に協議を進めている。今後、施設の早期譲渡に向け、引き続き同農協と協議する。  
 〈その他の質問項目〉○新型コロナウイルス問題（雇用と解雇、観光と飲食におけるウィズ・アフターコロナ、路線バスへの影響、新診療体制、市内発生クラスターと2次救急対応、ワクチン接種、小中学校休校と学力、子育てと保育）



今泉 昌一  
(さくら未来)

**弘前市の商業政策について**

**問** 市の商店街に対する方針を示せ。  
**答** 国の「地域の持続可能な発展に向けた政策の在り方研究会」の中間とりまとめにおいて、「今後は『商店が集まる街』から『生活を支える街』への変革が求められる」との提言がされている。  
 当市においても、今後の中心市街地の在り方を考えていく中で、商業機能の充実だけではなく、これまで以上に、地域

や市民ニーズに対応した、商業以外の機能を中心市街地に位置づけることによって、にぎわいの創出、まちの活性化を図っていくことが重要であると考えている。市としては、中心市街地を人口減少、少子高齢化などの地域課題に対応した地区と位置づけ、将来に向けたその在り方について、しっかりと検討し、当市の商業及び中心市街地の活性化を図っていく。

**議案等に対する各議員の賛否状況**

議案は、○は賛成、●は反対。請願は、○は採択、●は不採択。退は退席。  
 ーは採決に加わらなかったもの。議長（清野一榮）は採決に加わっていません。

議案等名	採決結果	竹内博之	成田大介	坂本崇	齋藤豪	福士文敏	蛭名正樹	石山敬	木村隆洋	千葉浩規	野村太郎	外崎勝康	尾崎寿一	蒔苗博英
令和2年度弘前市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	退
令和2年度弘前市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
令和2年度弘前市介護保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
令和2年度弘前市水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
令和2年度弘前市下水道事業会計補正予算(第1号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
令和2年度弘前市病院事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
弘前市職員給与条例等の一部を改正する条例案	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○
国の責任による「20人学級」を展望した少人数学級の前進を求める請願	不採択	●	○	●	●	●	●	●	●	○	●	●	●	●



工藤 光志  
(木場 公明)

**指定管理（利用料金制）について**

**問** 指定管理料増額の補正対応について。  
**答** 協定書には完全利用料金制の施設の場合、運営経費は指定管理者の負担で指定期間中に管理運営経費を支弁しないこと、一部利用料金制の施設では利用料金収入の減少で管理運営経費が不足する場合でも、指定管理者は指定管理料の変更の申出ができないと規定。新型コロナウイルス感染症による利用料金の大幅な減

収は想定し得なかった事態で、公共サービスの停止につながることも予想される。協定書等でこのような事態への対応取扱いが不明確だったため、指定管理者と協議し、完全利用料金制の施設も含め、施設運営継続のために指定管理料増額の補正予算対応するもので、協定書の一部を変更する協定を締結することとしている。  
 〈その他の質問項目〉○各部所管の許認可等の処分に要する処理期間について

**弘前市議会ホームページについて**

<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/gikai/index.html>

弘前市議会のホームページでは市議会に関する情報を掲載しております。是非ご覧ください。

○インターネットによるライブ中継・録画中継

当日、傍聴したくても来庁できない方のために本会議・予算決算常任委員会の様子をインターネットによるライブ中継を行っています。

また、録画中継は、原則会議の7日後からご覧いただけます。

○会議録検索システム

平成18年第1回臨時会からの本会議の会議録が閲覧できます。

また、平成24年9月定例会以降の会議録では映像と会議録が連動したものが閲覧できます。

○スマートフォン・タブレットにも対応しております。

弘前市議会 インターネット中継

弘前市議会 会議録

検索



※賛否が分かれた議案等のみ掲載しております。

松橋 武史	今泉 昌一	小田 桐慶二	鶴ヶ谷 慶市	石岡 千鶴子	石田 久	三上 秋雄	佐藤 哲	越 明男	工藤 光志	清野 一榮	田中 元	宮本 隆志	下山 文雄
○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○
○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○
○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○
○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○
○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○
○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○
○	○	○	○	○	●	○	○	●	○	-	○	○	○
●	●	●	●	●	○	●	●	○	●	-	●	●	●

**定例会一般質問等のラジオ放送**

本会議の傍聴やインターネットでの中継視聴ができない方のため、ラジオ放送もしています。FMアップルウェーブ（周波数78.8メガヘルツ）で、一般質問等の様子を当日午後8時から放送します。  
 ※緊急時、災害時には変更される場合も有り

**令和2年第4回定例会審議結果**

※議会での慎重審議により、承認、可決、同意となりました。

市長提出議案：28件

予算関係：18件、条例関係：7件、  
 その他：3件

議員発議：1件

